

安全保障貿易管理を巡る最近の動向

経済産業省 安全保障貿易管理課長
浅井 洋介

技術情報管理認証制度について

技術情報流出リスクの増大

- グローバル化の進展等を背景に、国内外への技術情報流出リスクが拡大。
- 技術情報はいったん流出すると回収が難しく、経済的に大きな損失を負うとともに、取引先からの信頼を失い、事業者の競争力が大きく棄損するおそれ。

技術情報流出リスクの高まり

➤ グローバル化の進展

国際的な人材流動性の高まり
国際競争の激化

➤ IT技術の進展

大容量データの持ち出しが容易に

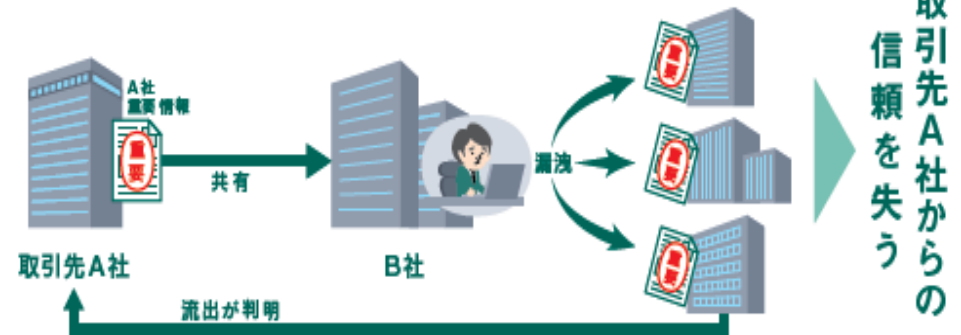
➤ 経済安全保障環境の変化

サイバー攻撃の巧妙化
技術覇権を巡る対立

＜関係者による技術流出で大きな損失を被ったC社＞



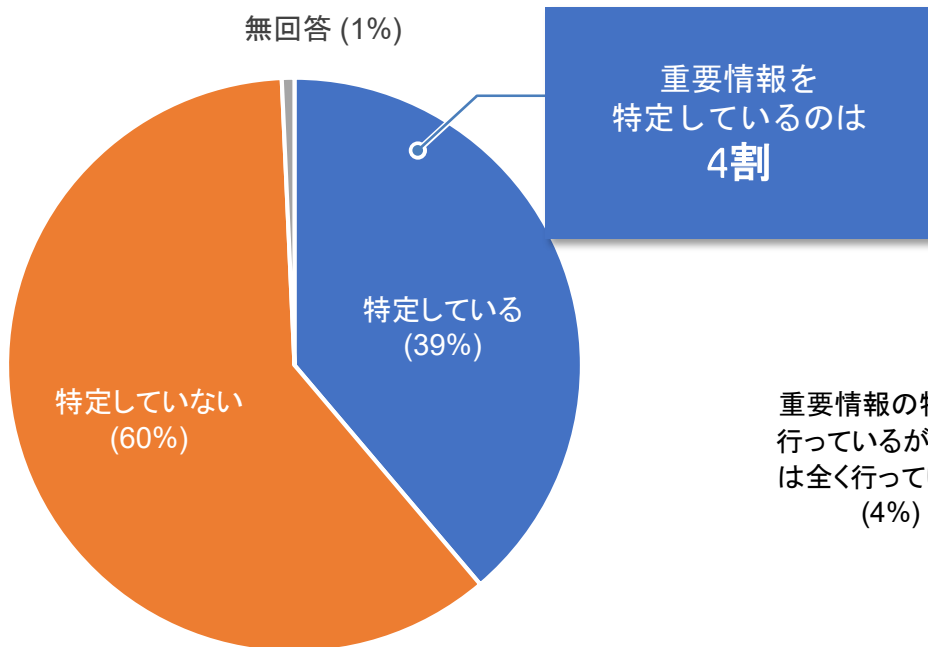
＜取引先の重要情報流出で信頼を失ったB社＞



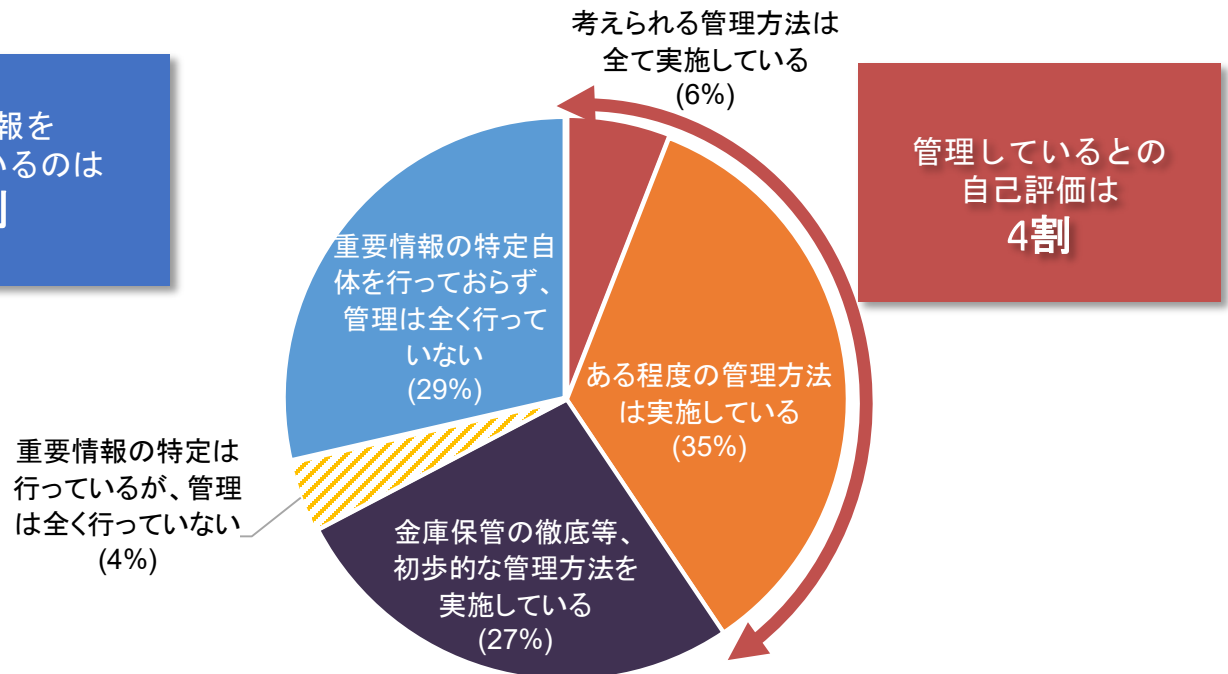
技術情報管理対策の重要性

- 一方、事業者の多くが重要情報を特定していない上、情報管理の取組が不十分。
- 個々の事業者が、**技術情報の流出防止に向けて対策を万全に講ずることが重要。**

<重要情報の特定状況>



<情報管理の取組の自己評価>



技術情報管理認証制度の概要

- 国が認定した**認証機関が、事業者の技術情報管理体制や状況を客観的に審査・認証**。（改正産業競争力強化法、平成30年9月25日施行）
- 認証取得により、事業者は適切な技術情報管理体制が整備されていることを示すことができ、**取引先等の信頼獲得**につなげることが可能。

事業者

技術情報の態様、価値等に応じて必要な管理策を実施、認証申請

申請

審査・認証



（主たる技術情報の管理基準）

①**管理者の選任**

→小規模の場合は経営者の兼任も可能。

②**情報の取扱い（管理、複製、廃棄等）**

→USB等への情報の記録の管理なども含め、作成から廃棄までのプロセスを通じた適切な管理の実施。

③**従業員向けトレーニング**

→具体的な技術等情報の取扱手続、報告手続、違反があった場合の処分の周知等のトレーニング項目を具体的に提示。

④**情報のアクセス制限（人）**

→情報へのアクセス権の制限を基礎に、アクセス権を設定する際の考慮事項等も提示。

⑤**情報を保管する金庫や扱うエリア**

→金庫で保管できるものは保管し、金庫で取り扱えないものは情報を取り扱うエリアを制限。
鍵の管理、金庫、制限エリアの構造等の強度を具体的に提示。

⑥**情報システムのセキュリティ**

→電子情報の場合は、USB等の持出しやサーバ上のアクセスの管理を基礎に、ファイアウォールの導入、ログ取得、IDS、IPS導入等を具体的に提示。データセンタへのハウジング、クラウド管理も想定。

認証機関（認定技術等情報漏えい防止措置認証機関）

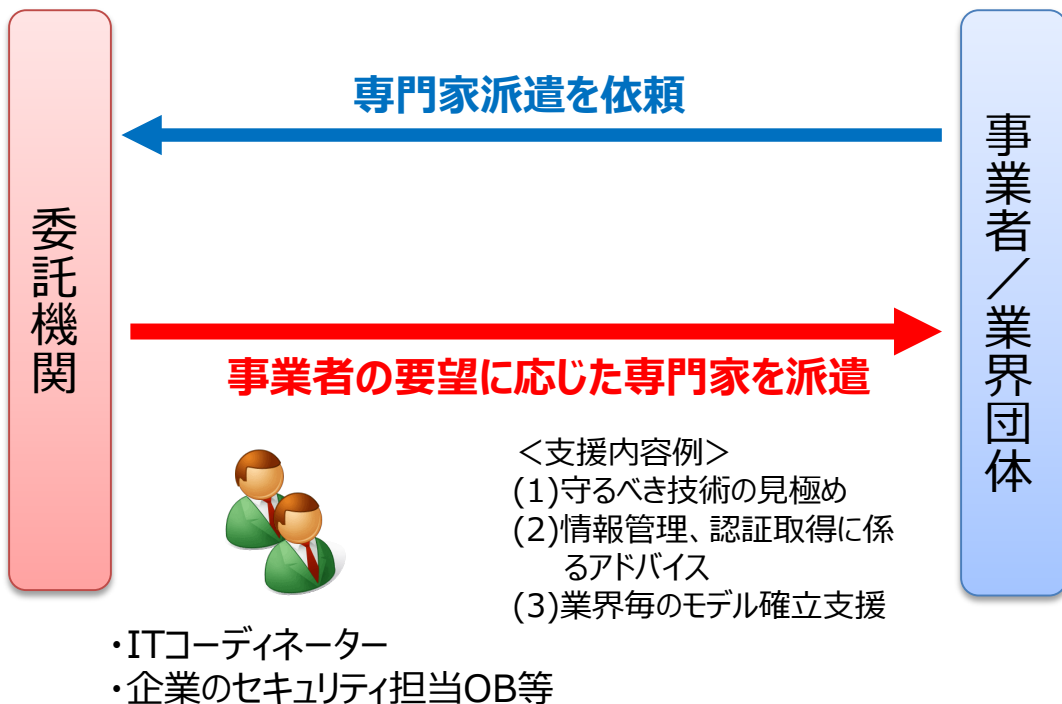
国の基準を満たすか客観的に審査・認証

- ✓ 認証機関は**6機関**、認証取得事業者は**23社**（令和3年5月末時点）

経済産業省による支援（専門家派遣事業）

- 経済産業省では、適切な技術情報管理を促進するため、①制度運用の見直し、②認証取得メリットの創出、③**認証機関及び事業者への支援**等を実施。
- 認証取得を検討する事業者等への支援として、情報管理の**専門家を派遣し、守るべき技術情報の見極め**や具体的な**情報管理手法のアドバイス**に加え、業界毎の標準的な技術情報管理手法（モデル）の確立をサポート。

専門家派遣事業の流れ



守るべき技術情報の例

